

## 沖縄・九州以外では非常に珍しい 「ウジルカンダ」が開花

摂南大学（学長：八木紀一郎）薬学部附属薬用植物園でウジルカンダ(マメ科・トビカズラ属)の花が咲きました。ウジルカンダは沖縄や九州(大分・鹿児島県)からアジア地域の亜熱帯・熱帯地域に広く分布する大型の常緑つる植物で、太いつるから長さ5cm以上もある大きな花が房になって垂れ下がり、鈴なりのブドウのようにも見えます。語源は「男絃(ウーチル)かすら」、「三線の太い弦のような蔓」の様子が写真からも見られます。開花期間は1～2週間です。

この開花株は担当教員が30年ほど前に沖縄で種子を採集して育てたもので、自生地以外で栽培される例はほとんどなく、開花は非常に珍しいものです。



写真：実際に植物園に咲いたウジルカンダの花(2016年5月19日撮影)

ウジルカンダの隣には同属で、全体が黒紫色の花をつけるトビカズラも栽培しています。中国原産で、日本の熊本・長崎県にあるものは自然分布ではないと言われており、実ができません。ところが本学の熊本県由来の栽培株が、昨年からは多数の実を結ぶようになりました。

ぜひ取材で取り上げていただきたくよろしくお願いします。

以 上

.....  
【お問い合わせ先】摂南大学薬学部附属薬用植物園（担当：邑田）

大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL. 072-866-3101（薬学部事務室）

【本件発信部署・取材のお申し込み先】

学校法人 常翔学園 広報室（担当：下出・上田）

TEL.072-800-5371 携帯 090-3038-9892